

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

①教育実習体験発表会

4年生の教育実習体験報告を教職課程履修者全員が参加して聞く。その後に、教科毎に別れてグループディスカッションを行っている。4年生には省察の機会となり、下級生には様々な情報や心構えを獲得する機会となっている。

②介護等体験発表会

3年生の介護等体験報告を教職課程履修者（中学校免許取得予定者）全員が参加して聞く。その後に、質疑応答をしている。中途半端な気持ちでは臨めないことを上級生から指導される機会となっている。

③厚木市教育委員会との連携

4年次後期「教職実践演習」において、「教員に求められていること」をテーマにして講義していただいている。その後に、講義者との質疑応答をして、議論も深めている。これを踏まえてワークシートを作成している。

④横浜市教育委員会との連携

大学と提携して、常時に情報交換や相互の要望を共有している。教員養成の相互理解を深めている。

⑤地元の小学校、中学校又は高等学校への授業参観

4年次後期「教職実践演習」において地元の小学校、中学校又は高等学校の協力を得ながら実施している。その参観体験の省察と議論を「教職実践演習」において行っている。

⑥地元の小学校、中学校又は高等学校への学習支援ボランティア

4年次後期「教職実践演習」において地元の小学校、中学校又は高等学校の協力を得ながら実施している。そのボランティア体験の省察と議論を「教職実践演習」において行っている。またこれとは別に、単位化されていない学習支援ボランティアの活動も希望者が地元の小・中学校で行っている。

⑦「模擬授業」の一斉指導と個別指導

実地実習に行く前に、複数回に亘り指導している。一斉指導においては、学生同士が相互に批評し合う。その回を重ねる毎にスキルアップしている。

⑧OB教員による講義と指導

教育現場の実情や教育現場から求められていることを伝えていただいている。先輩の生き生きしたメッセージを後輩達はしっかり受け止めている。

⑨教員採用試験および新任採用決定者への準備と指導

希望者に対して定期的に実施している。

⑩「あつぎアカデミックプロジェクト演習」による多様な学びの創造

21世紀を生き抜く力を育成するため、思考力・判断力・表現力等の育成など、新たな学びに対応した指導力を身に付けさせることを目指した「アクティブラーニング」としての本科目を実施する。